

NO	日付	頁	施策	箇所	意見等	発言者	担当課	備考	検討結果
3	7月15日	5	基本構想	その他	2①「森吉山や雪等の自然と上手く暮らす、活用する」の課題と内容が合っていない。→「自然環境を活用して・・・」としたほうがよいのでは。	福原 勝紀	総合政策課	奈良委員も同意	「森吉山や雪等の自然と上手く暮らす、活用する」を「自然資源を活かして、自然と上手く暮らす、活用する」に修正します。
10	7月15日	6	基本構想	その他	雇用が一番大事で難しい。基本理念の中でも力強い文言が欲しい。	高坂 祐司	総合政策課		5ページ2②「雇用創出を進め」を「働く場所の創出や起業しやすい環境づくりを推進することで」に修正します。
12	7月15日	10	1-1 地域医療の充実	現状や課題	市民病院の年間の赤字の見直しについて触れて欲しい。	福原 勝紀	医療健康課		医師確保が赤字縮減の前提となっており、そのため現在の病床数に合った医師確保が先決であることから、成果指標の医師数もそのための目標設定となっています。
11	7月15日	11	1-1 地域医療の充実	成果指標	(イ)市民病院には多くの非常勤医師が来てくれているのに、この目標設定ではそれが見えない。目標設定を非常勤医師も含めた延べ数で表して欲しい。	奈良 正人	医療健康課		非常勤医師は、期間や勤務時間等にそれぞれ違いがありますが、「常勤医師換算」を行い、常勤医師数に加えた形で目標値を設定します。(別紙参照)
34	7月15日	12	1-2 健康づくりの推進	現状や課題	自殺死亡率ワースト1ではなくなったことから表現を修正して欲しい。	奈良 正人	総合政策課		現状と課題の表現を「秋田県では、自殺死亡率が全国でも高い状況が続いており、・・・」へと修正します。
7	7月15日	13	1-2 健康づくりの推進	施策の方向性	(ア)心の健康づくりボランティアはかなりの人数が必要だが、現状として養成及び活動支援をどのように行うのか。	小坂 和子	健康推進課		現在、心の健康づくりボランティアである「心のふれあい相談員」は93名です。今後も心のふれあい相談員養成講座を開催し、新規ボランティアの養成及びフォローアップを図り、こころサロン等での活動を支援していきます。
19	7月15日	13	1-2 健康づくりの推進	施策の方向性	(ア)「心と体の健康づくりを各自治会や婦人会、食生活改善推進員など・・・」に老人クラブを付け加えて欲しい。	福原 勝紀	医療健康課		「・・・心と体の健康づくりを各自治会や婦人会、老人クラブ、食生活改善推進員などと連携して地域の健康づくり推進活動に取り組みます。・・・」に修正します。
31	7月15日	14	1-3 農業・畜産業の振興	施策の方向性	小さいときから農業・畜産に親しませることにより農業・畜産業が良い事だと知ってもらうためにも、体験についての文言を盛り込んで欲しい。	成田 光弘	農林課	ふるさと教育との整合性	「学校教育の充実」の「ふるさと教育」では農業・畜産業の体験等を実施する予定がないこと。農林課が単独で農業・畜産業の体験を実施することは困難であることから、「施策の方向性」に体験についての文言を盛り込むことは、困難と思われます。(教育委員会に確認したところ、上記のとおり体験等を実施する予定はないが、農林課としては、学校農園等を活用した学習がなされていることから「ふるさと教育」の一環として位置づけ「農業・畜産業の振興」では盛り込まないことでご理解を願う。)
8	7月15日	17	1-4 林業の振興	施策の方向性	(イ)ここに記載されているのは全て国庫の補助金の事業であるが、森林経営計画がなくても市独自で除伐・間伐をするようなことが盛り込めないか。	畠山 清志	農林課		森林経営計画の未策定、又は補助要件に該当しない場合においても、特定間伐促進事業により除伐、間伐事業の補助を受けることが出来るため、市独自の補助事業は行っておりません。また、上記を踏まえ、(イ)を「北秋田市森林整備計画に基づき、国、県の事業、並びに北秋田市民有林造林事業により整備を行い・・・」と修正します。
9	7月15日	17	1-4 林業の振興	施策の方向性	阿仁はぜんまいの産地。鷹巣でもわらびの産地を目指しているので、特用林産物の推進・推奨についての項目を付け加えて欲しい。	畠山 清志	農林課	1-5商業の振興とも関連あり	現行の総合計画では特用林産物の生産拡大は生産者、行政が一体となって集荷体制を確立するとなっていました。現在の販売ルートは生産者が自ら確立しており、生産者、地域等が限定されることから市全体の計画としては記載しておりません。
33	7月15日	17	1-4 林業の振興	施策の方向性	木材(秋田杉)の活用において、技能者の減少の中での後継者づくりについての市の取組を議論して欲しい。	金森 勝三	農林課		発言者の主旨は、林業ではなく建築業の後継者づくりを意味していると思われます。市内林業事業体では、新規採用者に対して林野庁又は、県の技術習得補助制度を活用し、研修を受講させていることから、市は補助を行っておりませんので、ご理解願います。
16	7月15日	20	1-6 観光・レクリエーションの振興	現状や課題	国文祭は単年度イベントなので文言修正をして欲しい。	成田 陸雄	商工観光課		観光客数増の要因として国文祭を取り上げたが、ご指摘に対応するとすれば、現状や課題の最初の文章の「平成26年度は国民文化祭等のイベントもあり」を削除し、「くまぐま園のリニューアル等もあり」など他の増加要因を記載します。
18	7月15日	20	1-6 観光・レクリエーションの振興	現状や課題	NO17と関連して、安の滝や太平湖は北秋田市の観光の売りであるので、その良さをもっと表現した内容にして欲しい。	濱田 純	商工観光課	施策の方向性にも	21頁の施策の方向性1に「安の滝や太平湖などの・・・ビジターセンターでの・・・」を追加します。
5	7月15日	21	1-6 観光・レクリエーションの振興	施策の方向性	阿仁熊牧場は収入で賄うのは難しい。牧場なので、頭数を増やし毛皮・肉・熊の胆などを産業として考えていくのはどうか。また、放牧したり研究体制を整えるなど、動物園ではない牧場としての本来の利用方法について盛り込んで欲しい。県補助もだんだん無くなってく中で考えていけないといけない。	奈良 正人	商工観光課		阿仁熊牧場「くまぐま園」については、県や関係機関・団体との連携を密にし、計画的な頭数管理(増数も含む)のもと、様々なイベント開催や他の動物園にはない施設独自の多様な観覧方法・関連商品等の開発更に研究体制の整備等を進めます。
6	7月15日	21	1-6 観光・レクリエーションの振興	施策の方向性	NO5と同じで、熊肉などは観光との両面で必要と考える。熊と触れ合える列車(内陸線)はどうか。	村井 松悦	内陸線支援室		鉄道運輸規程第23条において、動物や不潔または臭気のため他の旅客に迷惑をかけるおそれがあるものを持ち込むことができないこととなっているので、実現は困難であると思われます。
14	7月15日	21	1-6 観光・レクリエーションの振興	施策の方向性	宿泊施設が無く、一過性の観光パターンが多いのがネックである。宿泊を伴う観光ルートの誘致をすればどうか。	簾内 和子	商工観光課		森吉山の知名度を上げるよう、ロゴの活用に努めつつ、安の滝・太平湖といった類まれな観光資源を活かした観光ルートの確保、また、体験型宿泊観光メニューの開発を行い、国内外観光客の宿泊数の増を目指します。

NO	日付	頁	施策	箇所	意見等	発言者	担当課	備考	検討結果
17	7月15日	21	1-6 観光・レクリエーションの振興	施策の方向性	安の滝、太平湖が通行止なので、観光ルート確保のための整備を最重要でやる旨を盛り込んで欲しい。	成田 陸雄	商工観光課		現状と課題に「観光エリアや施設への動線整備が最重要課題であり、整備、改良に向けた取組みについて粘り強く関係機関等との協議、要望活動が必要となっております。」と追加します。
27	7月15日	21	1-6 観光・レクリエーションの振興	施策の方向性	(ア)「宿泊施設への増築補助」は本当に行うのか。	小坂 和子	商工観光課		要項を整備しながら推進していきます。
30	7月15日	21	1-6 観光・レクリエーションの振興	施策の方向性	サクラマス釣りの客がとても多いので、川資源について如何に観光に結びつけるか。禁漁区の範囲の見直しにより宿泊型観光にもつながる。また、地元釣りガイドとのジョイントによる観光釣りツアーでは、写真業者や加工業者とのタイアップ(山菜も)が可能になり食ビジネスにもつながる可能性があるので検討して欲しい。	奈良 正人	商工観光課	村井委員「割引宿泊券」とセットでの販売を話した	「県内外からの釣り客については、宿泊施設への入込は期待できるものの、観光地・施設への入込や地元関係者との連携も不透明であり、観光ツアーとして成り立つかが不安であるが、各関係機関と協議しながら推進する。」という観点から、現状と課題に「米代川、阿仁川などの水産資源の活用による観光産業振興への波及を促すため、関係機関等の連携が求められております。」、施策の方向性に、「観光振興の新たな取組として、水産資源活用のため関係機関等との情報共有と連携の推進を図ります。」を追加します。
1	7月15日	23	1-7 工業の振興	施策の方向性	(エ)「求職者認識を変えるように努めます」の表現は上から目線的。表現修正を。	濱田 純	商工観光課		「既存事業所が優良事業所であるとの正確な情報発信を引き続き行っていきます。」と修正します。
28	7月15日	23	1-7 工業の振興	施策の方向性	高齢者の活用についての文言を盛り込めないか。	福原 勝紀	商工観光課		施策の方向性1に「・高齢者の就業機会を確保するため、引き続き高齢者就業機会確保事業を推進します。」を追加します。
2	7月15日	29	2-3 高齢者福祉の充実	施策の方向性	(イ)地域包括ケアシステムの構築がもたらす効果が目標設定にない。満足度を指標にしたほうが良いのではないか。	濱田 純	高齢福祉課		地域包括ケアシステムは、高齢者が住み慣れた地域で最期まで生活できるよう、介護・医療・予防・住まいなどの多職種が連携しながら生活全般に渡って支援するシステムであり、そのための地域づくりでもあります。システム構築によって、要介護認定を受けない元気な高齢者を増やす、あるいは孤独な高齢者を無くす等につながるものとなるため、その成果としては、既に成果指標として記載している(ア)～(ウ)となります。
24	7月15日	34	3-2 学校教育の充実	現状や課題	「いのちの大切さ」について、具体的にSOSの出し方で踏み込むべきと話されている。先般の岩手県での事例もあるが、深いところを考えたものにして欲しい。	小坂 和子	学校教育課		いじめに関する実態把握、全職員による情報共有、迅速できめ細かい対応は、これまでも行われております。また、全ての学校で「いじめ防止基本方針」を作成し常に状況を確認しております。「いのちの大切さ」については全教育活動を通して指導していることから、いじめに関する新たな施策は敢えて必要ないと考えております。
25	7月15日	34	3-2 学校教育の充実	その他	秋田(特に北秋田)の教育の素晴らしさを活かして子どもたちを呼び込み人口減少の歯止めとできないか。	花田 元	教委総務課		人口減少歯止めのために、学校教育の観点から子ども達を呼び込むということは無理があり、移住定住促進の施策の中で考えるべきではないかと考えております。また、以前に行っていた山村留学と同じような形態での施策も考えられますが、長期の留学は現実的ではないと考えております。
20	7月15日	40	3-5 スポーツの振興	現状や課題	市スポーツ施設の老朽化について、「課題となっています。」という表現は弱いので、もっと具体性を持った表現にして欲しい。	成田 光弘	スポーツ振興課		施設の老朽化の問題については、市全体の問題であり今回の表現はこのままとします。
23	7月15日	41	3-5 スポーツの振興	施策の方向性	(ウ)市行事が大会日程と重複し参加できなかったなど、スポ少の活動がやりにくくなったので配慮して欲しい。	奈良 正人	スポーツ振興課		スキー大会に関することと思われるが、学校・スキー連盟・各地区スキークラブ・体協等と組織する実行委員会各地の大会日程を考慮して決定しておりますのでご理解願います。
35	7月15日	54	4-7 上水道・簡易水道の整備	現状や課題	「合川地区、森吉地区では、森吉山ダムに水源を求めて統合簡易水道施設整備を進めており、…」の表現は間違いではないか。	成田 陸雄	総合政策課		「合川地区、森吉地区では、ダム水を水源とした統合簡易水道施設整備を進めており、…」へと修正します。
4	7月15日	57	4-8 公共交通の維持・確保	その他	内陸線の厳しい現状の中、路線を残せるような施策として、例えば、レールバスの導入により、市民病院の近くに駅を設置するなど現実的な構想を考えないといけないのではないか。	奈良 正人	内陸線支援室		レールバスについては、最寄り駅への導入路の改修や、車体が軽い等の関係から、冬季における運行に課題があること。また、既存の軌道回路や鉄道信号との運動ができないことによる改修や、運転手が動力車操縦者免許とバス用の大型2種運転免許を取得する必要があることなどから、導入するには課題が多いと考えております。
26	7月15日	59	5-1 地域防災体制の充実	施策の方向性	(オ)メールは携帯を持っていない人もいることから、防災行政無線などの連絡網の整備について記載して欲しい。	成田 陸雄	総務課		5. 減災への取組を次のように修正します。 ・新たな情報伝達設備の導入(又は防災情報メールの推進)を進めながら、既存の防災行政無線の維持管理を図り、多様な情報伝達手段による連絡体制を整えていきます。
32	7月15日	67	5-5 男女共同参画社会の実現	施策の方向性	家庭あつての社会なので、家庭内の役割などの根本的な文言を盛り込んで欲しい。	小坂 和子	生活課		「施策の方向性」に盛り込むのは難しい(市民への意識啓発に包含される)ことから、66頁の「現状や課題」に、家庭における相互理解と協力にかかる文言を追加します。(別紙参照)
13	7月15日		その他	その他	市民病院を市民がもっと活用するように、大野台や近隣の開発が必要である。	金森 勝三	総合政策課		市民病院周辺の大規模な開発は財政的にも困難であることから、デマンドタクシーなど市民病院を利用しやすいようなソフト面のさらなる充実を検討します。

NO	日付	頁	施策	箇所	意見等	発言者	担当課	備考	検討結果
15	7月15日		その他	その他	地方創生関連の国のお金を使えるように、例えば福祉特区はどうか。福祉のまちであることで現在も注目されているので過去は過去としていいイメージを活用し、(委員自らが進めてきた)コンパクトシティを交えた福祉特区を目玉にできればいいのでは。「もり」を掘り下げてもよいので何かしらの特区構想を検討できないか。	高坂 祐司	総合政策課		特区とは、法規制を大幅に緩和することで活性化を推進することですが、当地域に有効な事業が、法による制限のために実現困難な場合には、特区制度の積極的な活用を検討したいと考えております。
21	7月15日		3-5 スポーツの振興	その他	手続きが他の営業団体と同様であるので、とても煩雑化である。登録団体であれば信頼の元で簡素化するなどして、団体の意欲を殺がないでほしい。	成田 光弘	スポーツ振興課		申請手続き時の添付資料内容を検討します。